

研究に関する情報公開

社会医療法人柏葉会札幌柏葉会病院では、札幌柏葉会病院倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施致します。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	AIを用いた急性期くも膜下出血患者の予後予測モデルの検討
当院の研究責任者	澤田 唯（さわだ ゆい） （社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 リハビリテーション科 作業療法士）
本研究の目的	脳卒中ガイドライン 2021 では、リハビリテーションプログラムを計画する上で個別の機能障害や日常生活動作の障害等の評価とその予後予測に基づくことが重要と言われております。しかし、脳卒中の中でも、くも膜下出血の場合は頭痛等の全身状態等の理由から、発症早期に十分な評価を行えないことが多く、予後予測の精度を高めるための因子や手法を検討する必要があります。近年は、短時間で大量のデータ処理が可能である人工知能（Artificial Intelligence, 以下 AI）が医療分野でも広く活用されていることから、本研究では、発症早期データを使用した予後予測モデルをAIを用いて作成し、退院時評価との関連性の調査と、その実用性の検討を目的とします。本研究を行うことで、予測精度の担保と予後予測に沿った個別性の高いリハビリテーション提供の一助となると考えられます。
調査データ・該当期間	2016年1月～2024年10月に当院を退院されたくも膜下出血患者様
研究の方法 （使用する試料）	発症時の年齢、JCS、World Federation of Neurosurgical Surgeons、ならびに発症2週後のJCS、従命可否、運動麻痺を診療カルテより収集し、退院時のModified Rankin Scaleに対する予後予測モデルをAIで作成し、そのモデルの実用性を検証します。なお、既存のデータを用いますので、患者様に新たな身体的・医療的負担が加わることはございません。
個人情報の取り扱い	個人情報の漏洩防止の為、取得した個人情報とデータは符号化し、個人を特定出来ないように加工し管理致します。また、本研究の結果の公表の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。また、データ保存を行うPCのファイルにはパスワードを設定します。研究データが保存されている記録メディアにもパスワードを設定し、メディアは施錠出来る保管場所に収納します。得られた研究結果は、学術集会等での発表を予定しています。研究結果の報告に関しては、研究に携わった研究者の氏名のみが公表され、研究協力者が特定できるような個人情報は公開致しません。実験で得られたすべての情報は、研究の終了について報告した日から5年を経過した日までの期間、保管致します。当該保管期間の後、保管されたデータは復元できないように処理した上で破棄致します。
任意性の保証	参加・不参加は対象者の自由であり、途中で参加を取りやめることも可能です。また、不参加や撤回による不利益が生じることはないことを保証致します。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究は、他組織からの資金の供給はないことから、利益相反はありません。
備考 連絡先	〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条12丁目1番25号 社会医療法人 柏葉会 札幌柏葉会病院 リハビリテーション科 作業療法士 澤田 唯（研究責任者） TEL：011-876-9100